

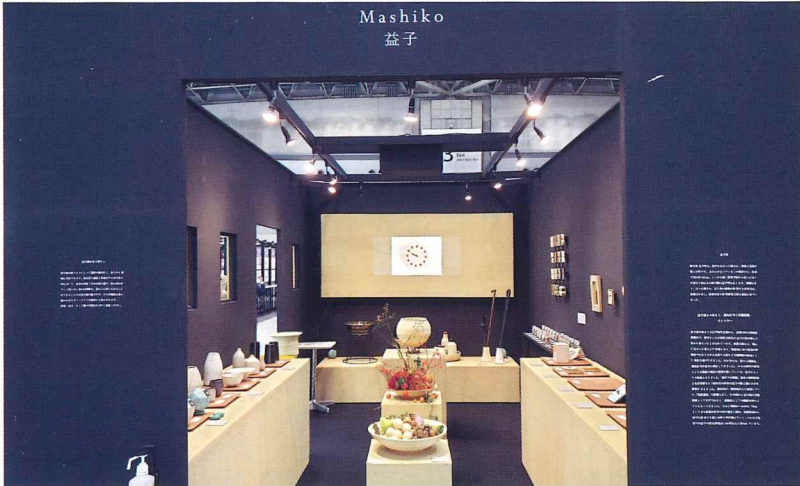
商工会報

とましこ

Mashiko
Society of Commerce & Industry

発行：益子町商工会
商工会員数：642人
(令和5年1月1日現在)

URL <https://mashiko-shokokai.com/> E-mail mashiko-net@shokokai-tochigi.or.jp



商工会長あいさつ

益子町商工会長 塚本 裕昭

新春の候、会員の皆様には置かれましてはますます御健勝のこととお慶び申し上げます。日頃より当商工会の事業活動にご理解・ご協力を賜り誠に有り難うございます。昨年、スポーツ界では米大リーグ・エンゼルス大谷翔平選手の二刀流活躍、プロ野球・ヤクルト村上宗隆選手の最年少三冠王誕生、サッカーワールドカップ・カタール大会での強豪ドイツ、スペイン戦の逆転勝利など、多くの明るい話題がありました。

栃木県においても第77回国民体育大会「いちご一会とちぎ国体」が開催され、益子町では、少年男子サッカー・成年男子軟式野球が行われ、熱戦が繰り広げられました。スポーツの素晴らしさを改めて実感し、勇気づけられました。また、春・秋の風物詩「益子陶器市」や「町民まつり」も3年振りに開催され多くの人出で賑わいました。

一方、未だ終息の見えないロシアのウクライナ侵攻により、資源やエネルギー価格の高止まりが続き、世界は歴史的なインフレとなっており、国内経済は、円安やコロナ禍が続く、中小・小規模事業者の経営環境は極めて厳しい状況にあります。

県内商工会が実施した景況調査においても、大半の事業所が「仕入れ価格の上昇を価格転嫁できていない」と回答しておりました。価格転嫁は販売量の減少、価格据

え置きは利益の減少に繋がりが、多くの事業者が大変苦悩しています。こうした中、昨年、当商工会は、観光協会、(一社)ましこラボ等と連携し、各種事業やセミナーに全力で取り組みました。「ウィズコロナと呼ばれる新時代を逞しく生き抜く商売人を育てる」を目的にパネルディスカッション及び各種セミナーを企画・開催しました。パネルディスカッションにおいては、那須町、益子町若沼で6次産業での酪農経営を行う、森林ノ

牧場(株)の山川社長、益子町大沢地区で工房を営む、わかさま陶芸の若林代表などから、コロナ禍での独自の取り組みについて貴重なお話をいただきました。コロナ禍においても知恵を絞る、創意・工夫しながら右肩上がりの経営を実践しており、お二人から大いに刺激を頂きました。

セミナーでは、益子町在住の(株)ドリームライズの茂垣社長、(株)Agoraの水野社長より販路拡大のための具体的な手法等について学びました。受講された方々は、今後の経営に役立つものとなったのではないのでしょうか。今年のセミナーで、ご希望のものがありませんでしたら是非相談いただきたいと思います。

さらに、昨年7月より「益子・土のガストロノミーリズムプロジェクト」にも参画し、地元飲食店の皆様と共に「益子の看板商品」の開発に取り組みました。ガ

ストロノミーとは、食にまつわるストーリーや文化等の総合体験であります。

商品開発は、知恵、時間、労力を要し、簡単に出来るものではありません。新たな価値を生み出さなければ、我々事業所の発展、持続が難しい時代を迎えつつあります。皆様の新しいものにチャレンジする姿は、大変すばらしいことです。「益子の看板商品」の開発が、観光誘客・地域繁栄に繋がることを大いに期待しております。本年も、こうした事業に対しては関係機関との連携を更に強化し「オール益子」で取り組んでいきます。

そして、当商工会は新しい年を迎えるに当たり、「会員ニーズの把握・支援の徹底」を今年の指針としました。本年10月からは、インボイス制度が開始されます。会員の皆様の中でも非常に不安を抱えている方もいると思います。

商工会に対するニーズは、他にも補助金申請、資金繰り、販路拡大など様々あります。こうしたニーズを的確に把握し、皆様の支援に繋がっていきますので、「身近な相談窓口」として商工会を是非ともご利用して頂きたいと思っております。厳しいこの経営環境を共に乗り越っていきましょう。

結びに、本年も事業者繁栄のため役員一体となり努力してまいりますので、引き続きご協力・ご支援をお願い申し上げます。本年が会員の皆様にとって、幸福で商売繁盛の一年となりますことを心折念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

JAPANTEX2022

estudio432

清水 秀輝

今回、東京ビックサイトに開催されたJAPANTEX2022に参加させて頂きました。前回のIFFTインテリアフリビングは器が中心でしたが、今年は「食器」という枠を超え、暮らしを楽しく彩るような商品を出展することで、自分の新たな可能性を見出すことのできたイベントとなりました。

今回の展示に際して、参加作家によるオリジナル益子焼タイルの提案があり、私は素地（生



の粘土）作りを担当させて頂きました。陶壁作家の藤原郁三氏の下で培った技術を生かしたことで原点回帰ができ、改めて自身の今後の方向性を再認識できたと感じました。出来上がったタイルは各作家のカラーがふんだんに表現されており、来場者の皆様を楽しませることができたと思います。

今後の益子焼のブランド力向上のためには、ユーザーの希望に沿った新たなアイテムをスピーディーに提供することが重要になってくると考えます。益子町は都市部からのアクセスが良く、立地に恵まれています。それに甘んじることなく各作家が魅力を発信し続けることで益子焼の新たな需要に繋がると信じています。

Clay studio2795

横尾 聡

工房Clay studioは、益子町商工会企画、東京ビックサイトでの参加は、2回目になります。前回のIFFTと今回の国際インテリア見本市は、テーマ、コンセプト、スケジュール、共同

制作まで、商工会、販売窓口、会場装飾、カタログ製作、窯元の商工会会員がミーティングを重ね出展に至りました。

当工房からは、洗面鉢、陶ジャリのサイドテーブル、照明器具の3点と共同制作タイル（4枚1組2セット）を出品しました。

会場ブースでは、『益子焼のある暮らし』益子の土から生まれるものをテーマにインテリア関係の焼き物、益子産の野菜や風景、益子の音までもが益子の土で作られた什器の上に整然と並べられ、土の匂いまでも感じられる構成になっていました。

壁面では、各窯元の特徴を生かしたタイルと小瓶に入れられた土、釉薬の原料粉が並べられ、一歩踏み込んだ内容に仕上がっていたように思います。（現在、益子商工会入り口ホールに展示されています）

大手企業が出展する中、益子町商工会ブースは、装飾、展示内容共に来場者の関心を集めていました。JAPANTEX2022は、益子のイメージを知っていたら、益子焼に興味を持っていただくと、相応しい展示になったと感じています。

最後の商談、カタログ販売、益子町の誘客に期待が持たれます。最後に小規模事業者では、出

展が難しい中、益子町商工会、窯業部会関係者様に感謝申し上げます。

薄田窯

薄田 いと

薄田窯は、出展者として今回の事業への参加は、昨年のIFFTに続き2回目となりまして、「暮らしが変わるインテリアの力」というコンセプトのもと、陶の時計や陶器の箱を出品いたしました。

3日間の開催のうちの2日、展示会場にも行き、ご来場された方の反応に直接触れることができました。ブースは、土の台に秋の草花や野菜が並び、自然の音が映像とともに流れる、より益子を感じられるものとなっていて、会場全体の中でもひととき印象的でした。

また、今回各事業所（窯元）で制作した同規格のタイルは、作者それぞれの作風で制作した異なる雰囲気のものでしたが、壁面に並べられるとひとつの作品のようでもあり、興味を持たれた方も多く、とても魅力ある展示になりました。

その他スピーカー・傘立て・洗面台といった暮らしにプラスするアイテムは、器だけではなく益子焼の可能性・多様性をア

ピールできたのではないかと思います。

この事業を通じて再認識した、商品イメージの大切さやコンセプトの重要性を、自身の制作にも活かしたいと思います。

商工会の担当者の皆様、関係者の皆様はこの場をお借りしてお礼申し上げます。ありがとうございました。



秋の陶器市



秋の陶器市が11月3日(木)～7日(月)の5日間において、3年ぶりに開催されました。終日天候にも恵まれ、5日間の来場者は約168千人。初日には5万人超のお客様が来場され、早朝より駐車場や検温所に長い列ができていました。

今回の陶器市でも春に引き続き、検温ステーションを設置し、益子町観光協会、益子町、益子町商工会を中心に会期中の運営をして、お客さまが安心して陶器市を楽しんでもらえるように努めました。また、今回はPOPUPテントとして、日本遺産かさましこや茨城空港のブースなどを設け、幅広い誘客に向けた取り組みもありました。

会期中は約16万人のお客様にご来町いただきましたが、改めて沢山の方々の協力の上で成り立っているイベントだと感じます。この場をお借りして御礼申し上げます。



青年部より

令和4年10月9日に青年部主催『グランピング合コン』と題し婚活イベント事業を開催しました。場所を町内のワラサン・キャンプサイトにて実施し、町内外より男女7名ずつ参加いただきました。

今回はキャンプ場を利用し、目の前には真岡鉄道があり定刻にはSLも走行し素晴らしいロケーションの中行われました。事業を企画するにあたり、仲山委員長をはじめ部員たちで活発な交流が出来るようにゲーム

やレイアウトなど様々な工夫を凝らしました。当日は寒空ではありませんでしたが、青年部・参加者の元で活発なコミュニケーションを図ることが出来、久しぶりに青年部主催の事業を行えたことに充実感を得ることが出来ました。

結果は、残念ながらカップル成立とはなりませんでしたが、参加者の開催後のアンケートからは好評の声を多くいただきました。

近年はコロナ禍で活動制限される中で青年部活動でしたが、部員全体で事業を企画運営していくことでやはり地域活性化・部

員間交流の源となること実感しました。



女性部より

商工会女性部では、6月28～29日福島方面への視察研修会を実施しました。新型コロナウイルス感染症が収束している時期を見計らい、研修委員が中心となって企画し、「都道府県民割引」をフルに活用してお得に行ける「ゆつたりのんびり天心・大観ゆかりの地 五浦」を実施しました。思い切つて実行した企画でしたが、和気藹々と日頃の労を労い親睦を深めることが出来たととても有意義な研修会となりました。

そのほか6月に太平洋社の清掃、10月に「味噌づくり」実務研修会、毎月第2水曜日の「花壇整備事業」を継続して実施して参りました。

また、10月16日には各商工会持ち回りで開催される「第4ブロック商工会女性部合同研修会」が芳賀町担当で実施され、宇都宮駅東口から芳賀町の工業団地まで開設される「LRT車両基地」を見学して参りました。宇都宮市が「雷都」ということで雷をイメージした黄色と黒の車両にも試乗してきました！



ニッポン全国物産展2022

(株)とん太ファミリー

溝口 司

11月18日(金)～20日(日)の3日間、池袋サンシャインシティで行われた「ニッポン全国物産展2022」に出店いたしました。第14回を迎えた本イベントは、「会場すべてがまるごとフードコート!」47都道府県ご当地「フェス」をテーマに、全国のご当地の味が大集合。出店数は100店を越え、3年ぶりということもあり連日多くの方が訪れ、賑わいました。

当社は、陶器市等イベントで皆様にご愛顧頂いている定番の「とん太ドッグ」「チリドッグ」と、新商品の「BBQドッグ」3種を出品。特に新商品「BBQドッグ」はアン・エリザベスファームさんオリジナルの手作りBBQソースを採用していたので尚更思い



が入りました。

結果としては、まずまず。目標まで届きませんでした。数ある店舗の中で3日連続でリピートしてくださる方も。益子町のアピール並びに多くのご評価を頂き、達成感と大きな自信となりました。

対面し、生のお声を頂戴し、感謝を伝える。ようやく増えてきた露出する機会は大変だと思ふから、可能な限り積極的に参加したいですね。

最後に、この3日間ご利用くださったお客様、機会をくださり、とん太ファミリー従業員のようチームとなつて実務をこなしてくださった益子町商工会並びに栃木県商工会連合会の皆様、誠にありがとうございました。

企画展「まじこのおみせ」について

(株)やまに大塚

大塚 達

益子町商工会では益子焼需要開拓事業として、昨年より販売店を対象にして、観光客向けに「益子焼の魅力伝える」という事業を開催し、その第二弾として道路利用者や地域の人々の情報交流や地域連携と活力ある地域づくりを促進し、活性化する施設である観光拠点施設「道の駅まじこ」にて展示させて頂きました。

今回の企画は店舗紹介だけではなく、飲食店における実際の器使用例、宿泊店でのインテリア、建材使用の様子をご覧いただける展示として、二期に分けて各お店の歴史や特徴、取り扱い作家をパネル・器の展示、動画等で紹介することに。より陶器の魅力を外に発信することができました。

お店の思いと雰囲気、多くの利用者や地域の人々にお伝え知って頂くこと、ご来店の機会を頂いたことは大変嬉しく



思います。

また、この企画ではスタンプラリーを実施し、景品として各店舗で使える商品券を発行するなど再度ご来店頂くきっかけ作りをしました。今後とも益子全体の交流、活性に繋がることを期待しております。



ダイジェスト版

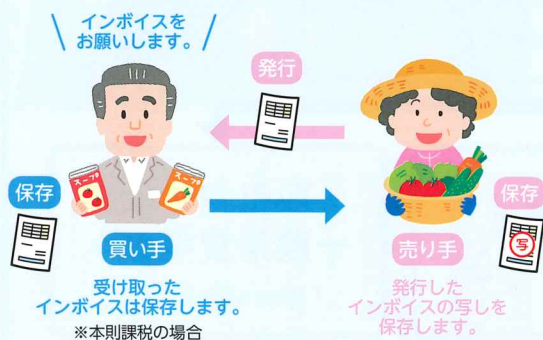
「一目でわかる！」 インボイス 発行・登録 どうする？

ほとんど
全ての事業者に
影響が
あります！

令和5年10月1日からインボイス制度が始まります。登録申請はもう始まっています。

インボイスって何？

インボイスは、取引のときに、売り手が発行する登録番号が入った請求書などの書類（適格請求書）です。買い手はインボイスを保存していないと、消費税の仕入税額控除を受けられません*。



どんな請求書なの？

現在の「区分記載請求書」に、インボイス登録番号、適用税率、適用税率ごとの消費税額の3つを追加記載したものになります。

インボイス（適格請求書）

請求書	
(株) ○○○御中	令和5年10月31日 (株) ▲▲(T1234...)
●年●月分	
●月▲日 ▲▲▲▲	3,300円
●月■日 □□□□	21,600円*
●月▼日 ▼▼▼▼	13,200円
合計	116,560円
10%対象 55,000円	内税 5,000円
8%対象 61,560円	内税 4,560円
※は登録税率対象	

インボイス登録番号

適用税率

適用税率ごとの消費税額

導入までのスケジュール

インボイス発行事業者になるには税務署への登録が必要です。制度開始時から導入するには、令和5年3月31日までに登録をすませる必要があります。（困難な場合、令和5年9月30日まで登録が猶予されます）



免税事業者からの仕入控除

インボイス導入後は、原則として免税事業者との取引では仕入税額控除はできません。

ただし、当初6年間は、一定割合を仕入控除できます。区分記載請求書等の保存と、経過措置の適用を受けることを記載した帳簿の保存が必要です。

当初3年間
令和5年10月1日～令和8年9月30日 80% 控除可能

次の3年間
令和8年10月1日～令和11年9月30日 50% 控除可能

令和11年10月1日以降 できません

全国商工会連合会

〒100-0006 東京都千代田区有楽町1丁目7番1号 有楽町電気ビル北館19階
URL <https://www.shokokai.or.jp/>

登録するかどうかは選べる？

免税事業者については、事業者ごとに「登録するかどうかを判断する」こととなりますが、下のチャートのような選択肢が考えられます。自分に当てはめて、フローチャートでチェックしてみましょう。

登録しない場合には、自社の取引にどのような影響があるか、あらかじめ考えておく必要があります。



簡易課税事業者はどうすればいいの？



免税事業者なんだけど、登録しなくちゃいけないのかな。

フローチャートでチェック！

YES →

NO →

現在、消費税の課税業者
消費税を申告納税している

(本則課税・簡易課税)



登録申請
必要

取引相手は
事業者が中心

取引相手は
一般消費者のみ

(領収書を必要としない)

登録するか選択する

現在、免税事業者が、登録するかどうかの判断基準は次の3点です。
● 取引先との関係 ● 売上高の減少の可能性 ● 消費税の納税額

登録申請
不要

登録する場合、
2つの選択肢があります

売上が1,000万円以下であっても、
インボイス発行事業者になると消費税の納入義務が生じます。

登録しない場合、
免税事業者のままいることも可能

本則課税

売上高に対する消費税額から
仕入にかかる消費税額を差し引
いて納税する消費税額を算出
します。

簡易課税

売上高に業種に応じたみなし
仕入率をかけて、納税する消費
税額を算出します。仕入時に支
払った消費税額は影響しません。



詳しくは、冊子版「一目でわかる！インボイスの手引き」をご覧ください。

西村製陶

代表：西村 俊彦

1985年に独立築窯。
年3回、益子、笠間にて作
陶展を開催し、その他陶器を
卸販売しています。

2014年、工房隣にカフェ
「sono鯛」をオープン(土日
のみ営業)。そちらでも器を販
売しています。

〒321-4104 益子町大沢3584-4
TEL▶0285-72-6361 FAX▶0285-72-6361
定休日▶特になし



新規会員企業紹介



ミズホ設備

代表：発知 徹郎

厨房機器のメンテナ
ンス、ステンレス調理
器具等の修理を行っ
ております。一般住宅
の水回り器具交換、イン
ターホンの不具合調査
なども行っております。
エアコンの清掃もお受
けします。



〒321-4216 益子町塙273-17
TEL▶080-6657-6884 FAX▶028-333-1146
定休日▶土日、祝日 営業時間▶8:00~17:00

Tsuchi no Megumi

代表：鈴木 恵深

初めまして、土のめぐみ
と申します。陶芸家を目指
し、神奈川県から益子に移
住し10年になります。現在
は、小さな埴輪『あげあげ
はにわkid's』を主に製作し
ております。どうぞよろし
くお願いいたします。



〒321-4213 益子町山本2457-89
TEL▶080-4345-6623
定休日▶不定休 Instagram▶tsuchi_no_megumi

酒井産業

代表：酒井 政也

花苗や鉢花を毎週埼玉県の市
場に買い付けに行き、道の駅ま
しこや宇都宮その他の直売所で
委託販売をしています。ぜひ、
お手にとっていただくと嬉しい
です。よろしくお願ひいたし
ます。



〒321-4104 益子町大沢3658-4
TEL▶090-2629-0549 FAX▶0285-72-0462

カレー&カフェ Buddy's

代表：大久 徹也

2022年6月10日道祖土にO
PENしました。当店独自のス
パイス調合で作るこだわりのカ
レーとタンドール窯で焼く香ば
しいナンをぜひご賞味下さい。
テイクアウトも承っております。
スタッフ一同心よりお待ちしております。



〒321-4217 益子町益子3358-7
TEL▶0285-81-3841 FAX▶0285-81-6828
定休日▶水曜日 営業時間▶11:00~18:00
Instagram▶buddys.0610

益子のスープ屋 Trois

代表：吉田 祐幸

「益子野菜を使った本格的なスー
プをお手軽に」をコンセプトに
2022年5月にオープンしました。

当店イチオシの『益子野菜と自
家製ベーコンの野菜スープ(400
円)』をぜひ一度お試しください。

〒321-4217 益子町益子3435-1
益子陶芸村

定休日▶水・木・金

URL▶<https://www.instagram.com/mashiko.soupyo3>



代表：遠藤 尚子

ホルン演奏・指導者として県内外で
活動中です。今秋から、益子での定期
的な演奏会を始めました。市町村から
の依頼で学校等での演奏や企業からの
依頼演奏も行っております。県内外の
小中高校の吹奏楽指導や県内の音楽教
室で講師を務め、プロオーケストラ、
吹奏楽団で活動中です。



〒321-4216 益子町塙3372-3
TEL▶080-5065-1744 FAX▶0285-72-7476
URL▶<https://facebook.com/naoko.endo.90>
<http://tokyosdgsw.com/>
<https://ashikagakammer.fc2.page/>

金陶房

代表：金 溶萬

こんにちは。僕は日本に来て21年目で、益子の焼き物を作っております。

特に魚や動物などを主なモチーフに作っています。

住まいは、埴に住んでいます。皆様よろしくお願ひ申し上げます。

〒321-4217 益子町益子3427-2

TEL▶090-4419-4410

定休日▶9:00~18:00

E-mail▶kkimymkr.4121@gmail.com



おそうじ本舗 真岡東店

代表：小林 正典

今年の8月に埴で開業致しました。エアコン清掃をはじめ、浴室清掃、換気扇清掃など、ハウスクリーニング全般を請け負っております。地元の皆様に少しでもお力になれば幸いです。お気軽にお問合せ下さい。よろしくお願ひ致します。



〒321-4216 益子町埴759-12 TEL▶0120-70-1053

営業時間▶9:00~18:00 定休日▶不定休

URL▶<https://www.osoujihonpo.com/shop/detail/19836>

森林ノ牧場株式会社 益子牧場

代表：山川 将弘

森林ノ牧場 益子は那須にある森林ノ牧場の第2牧場として2021年オープンしました。未利用の耕作放棄地、約8haにジャージー牛を放牧



し生乳を生産しています。生乳是那須で牛乳やバターやヨーグルトに加工し、道の駅ましこなどで販売しています。

〒321-4103 益子町太平618-3

FAX▶050-3172-8084

URL▶https://www.instagram.com/mashiko_shinrinno/
<https://www.shinrinno.jp/>

株式会社 聚

じゅう

代表：塚本 倫行

株式会社 聚は、2022年6月10日に資本金1,500,000円で設立した会社です。業務内容は以下の通りです。

- 商品開発事業 商品のコンセプトに合った益子焼の器を実現するため開発から製造までのサポート
- 製造管理事業 益子焼の商品の受注、製造、納品の管理をサポート
- 流通支援事業 梱包技術等を要する益子焼の流通支援
- 卸販売事業 益子の陶芸作家作品などの卸販売



〒321-4218 益子町城内坂8

TEL▶050-3092-9858

齋藤建築 gamme

代表：齋藤 圭

〒321-4104 益子町大沢2943-1

TEL▶0285-81-8383 FAX▶0285-81-8383

大兼建材

代表：大兼 寛

〒321-4213 益子町山本2457-6

TEL▶0285-72-5408

益子町の外れにある自動車板金工場を始めて、もうすぐ三十年になります。同時に商工会に入会しましたので最初からずっとお世話になり、色々な事を学び多種多様な仕事の方達と出会い、今の仕事の基本は商工会のお陰と言っても過言ではないと思っております。

その中でも一番の思い出は商工会青年部での活動です。同じ世代の仲間が集まり、家族で参加した研修旅行やクリスマスなどの時期にはサンタクロースに扮して各家庭を回り子供達の喜ぶ顔や驚いた姿に私達が楽しんでいたように思い出されます。

そして、当時のメインイベントが益子駅前広場で行っていたクリスマスコンサート



柳 一己

です。企画会議から始まり、会場設置、飾り付け、当日のコンサート、片付けまで青年部全員で走り回り成功させた行事の賜物ではないかと懐かしく思い出している次第です。

仲間と一緒に作り上げたものの、活動や体験を通して会員以上の絆が生まれたように感じました。その時の経験が仕事の内容にも生かされています。

そういった交流が顧客として現在に至り『友達の友達は皆友達だ』の流れにより今の仕事成り立っています。

また五年ほど前には、大病を患い苦労しましたが、沢山の人が支えられ励まされました。この歳になり余計に身に沁み、改めて人の温かさに触れ人付き合いや交流の大切さを実感させられました。この場を借り御礼をいいたい気持ちです。本当にありがとうございました。

商工会の輪

